

Panasonic®

取扱説明書



品番
多機能ツアーアンプ **CB-Q300D**



品番
AM/FM 電子同調ラジオアンプ **CB-R300D**



ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みいただき、安全にお使いください。

保証書別添付

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 保証書は、お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

特長

CB-Q300D : CB-Q300Dのみの機能・仕様 / **CB-R300D** : CB-R300Dのみの機能・仕様

■ バス用としての様々な機能を装備

- マイク入力端子 (☞ 15, 23, 31ページ)
マイクの音量はそれぞれ個別に調整できます。
- デジタルエコー調整機能 (☞ 15ページ) **CB-Q300D**
マイクの音声にエコーをかけることができ、さらに効果を調整することもできます。
- 車内スピーカー/車外スピーカー出力切り換えスイッチ (☞ 17ページ)

■ 本機を中心としたさまざまなシステムアップが可能

- HDDカラオケ (CB-CS3000D/CS1000D) →本機の外部入力端子へ接続
バスの中にいながら、背景動画や効果音演出などの多機能カラオケを楽しむことができます。
- DVDプレーヤー (CB-DVD200D) →本機のプレーヤー入力端子へ接続可能 **CB-Q300D**
DVDビデオ・ビデオCDの映像と音声、音楽CDの音声を楽しむことができます。
- CDプレーヤー (CB-CD200D) →本機のプレーヤー入力端子へ接続可能 **CB-Q300D**
音楽CDの音声を楽しむことができます。
- カセットプレーヤー (CB-C200D) →本機のプレーヤー入力端子へ接続可能 **CB-Q300D**
カセットテープの音声を楽しむことができます。
- テレビチューナー (TU-24BSA) →本機の外部入力端子へ接続可能
テレビの映像と音声を楽しむことができます。
※映像をお楽しみいただくためには、テレビ (モニター) の接続が必要です。

お知らせ

- DVDプレーヤー (CB-DVD200D) とCDプレーヤー (CB-CD200D) は同時に接続できません。
- HDDカラオケは、CB-CS3000DかCB-CS1000Dのいずれかをお選びください。
- 対応している電源 (バッテリー/アクセサリ) 電圧は機種により一部異なります。詳しくは「配線のしかた」(☞ 22, 30ページ) および接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

はじめに

本書はCB-Q300DとCB-R300Dの取り扱いについて説明しています。機種により機能・仕様が異なりますので、お買い上げの品番をよくお確かめのうえ、お使いください。相違点につきましては、下記の表をご覧ください。また、全てのイラストは、特におことわりのないかぎり、CB-Q300Dを記載しています。

機能・仕様	モデル		機能・仕様	モデル	
	CB-Q300D	CB-R300D		CB-Q300D	CB-R300D
音質調整機能	○	×	ライン出力	○	×
マイクエコー機能	○	×	リヤスピーカー出力	○	×
プレーヤー接続	○	×	AMアンテナ出力	○	×
客席マイク入力	○	×	ラジオモニター出力	×	○

ご使用前に

特長	2
安全上のご注意	4
使用上のお願い	7
付属品・添付品の確認	7
各部のなまえとはたらき	8

使いかた

基本操作	10
------	----

- 電源を入れる
- 電源を切る
- 音量を調整する

音質を調整する CB-Q300D	11
-------------------------	----

- 高音を強調する
- 低音を強調する
- 前後のスピーカーの音量バランスを調整する

ラジオを聞く	12
--------	----

- ラジオモードにする
- ラジオのバンドを選ぶ
- 放送局を選ぶ
- 放送局を自動で探し、記憶させる
- 放送局を一つずつ記憶させる
- 記憶された放送局を呼び出す

交通情報を受信する	14
-----------	----

- 交通情報を受信する
- 周波数を切り換える
- もとの状態に戻す

マイクを使う	15
--------	----

- マイクの音量を調整する
- エコーを調整する **CB-Q300D**

他の機器の音声を聞く (AUX)	16
------------------	----

- 外部音声入力 (AUX) に切り換える

スピーカー出力を切り換える	17
---------------	----

- スピーカー出力 (車内/車外) を切り換える

必要なときに

故障かな!?	18
配線・取り付けの前に	20
取り付けかた	21
配線のしかた CB-Q300D	22
配線のしかた CB-R300D	30
お手入れのしかた	36
仕様	37
保証とアフターサービス	38

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

配線・取り付けに関するご注意

DC24V \ominus アース車で使用する



本機はDC24V \ominus アース車専用です。DC12V車には使用できません。火災や故障の原因になります。

指定に従って設置・配線する



説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

配線・取り付け作業中は、 バッテリーの \ominus 端子を必ずはずす



バッテリーの \ominus 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

使用しないコードの先端などは、 絶縁する



被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。



車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

警告

配線・取り付けに関するご注意

取り付け・アース配線などに、保安部品を絶対に使わない



禁止

車の保安部品（ステアリング、ブレーキ系統やタンクなど）のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないよう引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する



車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災や感電、事故の原因になります。

ご使用に関するご注意

運転者は走行中に操作をしない また、画像・表示を注視しない



禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

機器内部に水や異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご依頼ください。

大きな音量で使用しない



禁止

車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。

警告

ご使用に関するご注意

故障や異常な状態のまま使用しない



禁止

万一、故障（表示が出ない・音が出ないなど）や異常（異物が入った・水がかかった・煙が出る・異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。そのまま使用を続けると、火災や感電、事故の原因になります。

注意

配線・取り付けに関するご注意

配線・取り付け/取りはずしは、専門技術者に依頼する



配線・取り付け/取りはずしには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない



禁止

雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

コードを破損しない



禁止

傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

本機の通風孔や放熱板をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因になることがあります。

高温になる場所には取り付けない



禁止

直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

⚠ 注意

ご使用に関するご注意



禁止

業務用車両（バス）以外には使用しない

業務用車両（バス）以外（例えば船舶や建物など）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。また、一般車にも使用できません。

使用上のお願い

他の機器と接続する場合は

- 接続する各機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話や、業務用無線機器を使用する場合は

- 携帯電話や、業務用無線機器を置く位置や向きによっては、雑音を生じることがあります。できるだけ本機およびシステムで接続された機器から離してご使用ください。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。

付属品・添付品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

付属品

- 配線・取り付け用部品（☞20ページ）

添付品

- 取扱説明書（本書） ● 保証書

各部のなまえとはたらき

CB-Q300D

プリセットボタン 1~6

- 放送局を記憶させる / 呼び出す

表示部

ラジオボタン

- ラジオモードにする

選局ボタン ▲ ▼

- 放送局を選ぶ

電源ボタン

- 電源を入れる/切る



交通情報ボタン

- 交通情報を受信する

AM/FMボタン

- ラジオのバンドを選ぶ
- 放送局を自動で探し、記憶させる

AUXボタン

- 外部音声入力に切り換える

音量調整つまみ

- 音量を調整する

案内マイク1入力端子

- 案内マイク1を接続する

マイク音量つまみ

(案内1/2, 客席1/客席2)

- 案内マイク1または2の音量を調整する
- 客席マイク1または2の音量を調整する

スピーカー切り換えスイッチ

- スピーカー出力 (車内/車外) を切り換える



エコー調整つまみ

- マイク音声にかけるエコー効果を調整する

高音/低音調整つまみ

- 高音/低音を強調する

フェダー調整つまみ

- 前後のスピーカーの音量バランスを調整する

後面の端子については、「配線のしかた」をご覧ください (P.22ページ)

CB-R300D

プリセットボタン 1~6
● 放送局を記憶させる / 呼び出す

表示部

電源ボタン
● 電源を入れる/切る

ラジオボタン
● ラジオモードにする

選局ボタン $\wedge \vee$
● 放送局を選ぶ



交通情報ボタン
● 交通情報を受信する

AM/FMボタン
● ラジオのバンドを選ぶ
● 放送局を自動で探し、記憶させる

AUXボタン
● 外部音声入力に切り換える

音量調整つまみ
● 音量を調整する

案内マイク1入力端子
● 案内マイク1を接続する

マイク音量つまみ (案内1/2)
● 案内マイク1または2の音量を調整する

スピーカー切り換えスイッチ
● スピーカー出力 (車内/車外) を切り換える




後面の端子については、
「配線のしかた」をご覧ください
(P.30ページ)


基本操作



電源を入れる

- ① 車のエンジンをかける
(「ACC ON」でも可)
- ②  を押す

電源を切る

- 電源が入っているときに
-  を押す

音量を調整する



初期設定：18
調整範囲：0～40

音質を調整する

CB-Q300D



高音/低音調整つまみ

フェダー調整つまみ

高音を強調する

- ① 押して引き出す
- ② 高音/低音(引) 低減 (回す) 強調

低音を強調する

- ① 押して引き出す
- ② さらにつまんで引き出す
- ③ 高音/低音(引) 低減 (回す) 強調

前後の
スピーカーの
音量バランス
を調整する

- ① 押して引き出す
- ② フェダー 前方を強調 (回す) 後方を強調

使いかた

ラジオを聞く



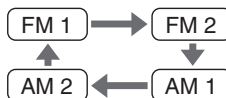
ラジオモードにする

ラジオ
 を押す

- 再度押すと、ラジオの音声が聞こえなくなり、マイクからの音声だけが聞こえる状態になります。もう一度押すと、もとの状態に戻ります。

ラジオのバンドを選ぶ

AM/FM
 を押す



FMステレオ放送を受信したときに表示
 (AMステレオ放送には対応していません)



バンド

放送局を選ぶ

手動で選ぶ
 を押す

自動で選ぶ
 を0.5秒以上

押しはなす

- 放送局を受信すると、止まります。

放送局を記憶させるには

各バンド（FM1、FM2、AM1、AM2）ごとに、放送局を最大6局ずつ記憶させることができます。

放送局を
自動で探し、
記憶させる

① バンドを選ぶ
(左ページ)

②  を2秒以上押す

- 受信状態のよい放送局が、プリセット番号1から順に上書きされ、最大6局まで記憶されます。


終了すると



- プリセット番号1を受信します。



プリセット番号表示


放送局を
一つずつ
記憶させる


① バンドと周波数を選ぶ
(左ページ)

②  から  までの
いずれか1つを2秒以上押す

- プリセット番号と周波数の表示が1回点滅し、受信中の放送局が、選んだプリセット番号に上書きされ、記憶されます。

記憶された
放送局を
呼び出す

① バンドを選ぶ
(左ページ)

②  から  までの
いずれか1つを押す

- プリセット放送局を受信します。

交通情報を受信する

外部音声入力（AUX）や、接続したプレーヤー（CDなど）の音声を聞いているときでも、ボタン1つで交通情報を受信できます。また、放送局を2つの周波数から切り換えて選択することもできます。
(初期設定：AM 1620 kHz)



交通情報ボタン

交通情報を受信する

交通情報
- を押す



周波数を切り換える

交通情報受信中に

交通情報
- を2秒以上押す

1620 kHz ↔ 1629 kHz

もとの状態に戻す

ラジオ： ラジオ
- を押す

AUX： AUX
- を押す

接続したプレーヤー：
プレーヤーの[再生]ボタンを押す

マイクを使う

準備 マイクを接続してください。案内マイク2と客席マイク1/2の接続のしかたについては、「配線のしかた」(P.23, 31ページ)を参照してください。

案内マイク1入力端子

エコーLED (エコーがきいているときに点灯) **CB-Q300D**

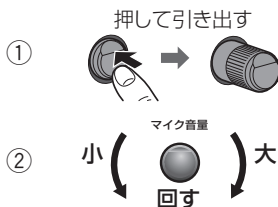


エコー調整つまみ **CB-Q300D**

マイク音量つまみ
(案内1/2, 客席1/客席2 **CB-Q300D**)

マイクの音量を調整する

■ 案内1, 客席1/客席2

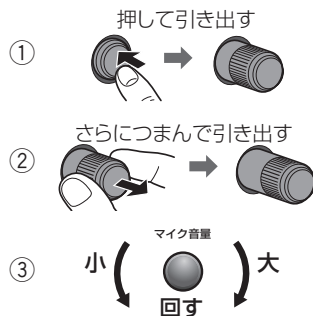


案内1/2 :
本機に接続したマイクの音量
客席1/客席2 **CB-Q300D** :
客席に接続したマイクの音量

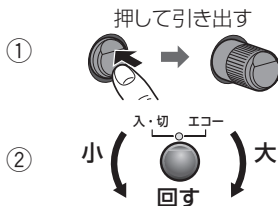
お知らせ

- マイク以外の音量は、[音量調整つまみ]で調整してください。(P.10ページ)
- マイクのON/OFFは、マイクのスイッチで行ってください。

■ 案内2



エコーを調整する **CB-Q300D**



お知らせ

- エコー効果は[Eコー調整つまみ]が引き出された状態でのみ有効です。使用中は引き出されたままの状態にしてください。
- エコー効果が有効なときは、エコーLEDが点灯します。
- エコー効果はマイク音声にのみ有効です。


他の機器の音声を聞く (AUX)

準備 外部入力端子に、他の機器 (HDDカラオケ : CB-CS3000Dなど) を接続してください。
(P.24~27, 32~35ページ)



AUXボタン

外部音声入力
(AUX) に
切り換える

 を押す

- 外部入力端子に接続した機器の音声が出力されます。
- 操作のしかたは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。



スピーカー出力を切り換える

準備 車外スピーカーコードに、車外スピーカーを接続してください。(P.22, 30ページ)



スピーカー切り換えスイッチ

スピーカー出力
(車内/車外) を
切り換える



内(左側)：車内のスピーカーから音が出る
外(右側)：車外のスピーカーから音が出る

使
い
か
た

故障かな!?

症状

原因・処置

ページ

● 電源・共通

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」でも可) ●各コードの接続を確かめてください。 ●本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 →お買い上げの販売店にヒューズの交換をご依頼ください。 	<p>— 22~35</p> <p>—</p>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカー出力の設定が「外」になっている。 →「内」に切り換えてください。 ●音量を上げてください。 ●各コードの接続を確かめてください。 	<p>17</p> <p>10 22~35</p>
雑音が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●本機およびシステムで接続された機器の近くに、業務用無線機器など雑音の原因になるものがないか確認してください。 ●アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されているか確かめてください。 	<p>—</p> <p>22~35</p>

● 音量バランス調整

前後のいずれかの音が出ない CB-Q300D	<ul style="list-style-type: none"> ●[フェダー調整つまみ]で、前後のバランスを調整してください。 ●各コードの接続を確かめてください。 	<p>11</p> <p>22~29</p>
ステレオのとき、左右の音が逆になる	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードの接続を確かめてください。 	<p>22, 30</p>

● ラジオ

ノイズが多い	<ul style="list-style-type: none"> ●放送局の電波が弱い。→放送局を変えてください。 ●アンテナのアースの接触を確かめてください。 	<p>12</p> <p>—</p>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●ラジオLEDが点灯しているか確認してください。 点灯していない場合は、[ラジオボタン]を押してください。 	<p>12</p>

こんな表示が出たときは **CB-Q300D**

表示

原因・処置

E 90	<ul style="list-style-type: none"> ●接続したプレーヤーが、他のソースを聞いているときに停止しない。 <p>→車のエンジンをかけなおすか、またはACC電源を入れなおしてください。</p>
E 91	<ul style="list-style-type: none"> ●動作しない場合には、本機の[リセットスイッチ]を押してください。 →それでも動作しない場合には、設定を初期の状態に戻してください。 →正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」に修理をご依頼ください。

音の出始めなどに、音切れが気になる場合は（M-MUTE）

M-MUTE（無音検出ミュート）とは、無音時のノイズを避けるために、無音状態を検出して消音する機能です。
初期設定：M-MUTE ON

折れにくい棒状のもので、[M-MUTEスイッチ]をまっすぐに押し、M-MUTEをOFFにしてください。

無音時のノイズが気になる場合は
再度押し、M-MUTEをONにしてください。

M-MUTE ON 時に点灯

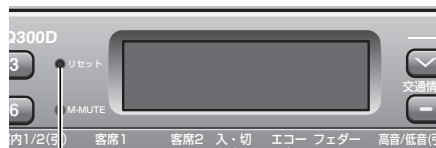


M-MUTE スイッチ

どのボタンを押しても動作しない場合には

折れにくい棒状のもので、[リセットスイッチ]をまっすぐに押し、電源が一度切れ、再び入ります。
(記憶されている設定・調整は消去されません)

リセットしても正常に戻らない場合は
設定を初期の状態に戻してください。それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」に修理をご依頼ください。



リセットスイッチ

設定を初期の状態に戻すには

交通情報受信中に

① **6** を2秒以上押す



● 上のような表示になります。

② **1** を2秒以上押す

● 記憶されている設定・調整が消去され、電源が切れます。(出荷時の初期設定になります。)

途中でやめるには

手順①のときに **6** を再度押す

万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。

安全を確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」に修理をご依頼ください。

お客様による修理は、絶対におやめください。

配線・取り付けの前に

■ 配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

● 配線関係

品名	個数
① 電源コード	1
② マイクコード	1

● 取り付け関係

品名	個数
③ 座付きねじ (M5 × 8 mm)	4
④ 座付きタッピンねじ (φ5 × 16 mm)	4
⑤ L型金具	2
⑥ スペーサー/両面テープ	各2

■ 取り付けの配置について

システムで取り付ける場合は、以下のような配置で取り付けてください。

- 2つ重ねるときは、必ずアンプ（本機）を上に取り付ける。
- DVDプレーヤー/CDプレーヤーとツアーアンプ/テレビチューナーはなるべく離して取り付ける。

例) **CB-Q300D**

フルシステムの場合

HDDカラオケ CB-CS3000D
テレビチューナー TU-24BSA

多機能ツアーアンプ CB-Q300D
カセットプレーヤー CB-C200D

DVDプレーヤー CB-DVD200D (またはCDプレーヤー CB-CD200D)

■ 作業の順序

① バッテリーの⊖端子をはずす

② 配線する (P22~35ページ)

- 他の機器と接続する場合には、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
- ショート事故防止のため、電源コードの本体側コネクタは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

③ 取り付ける (P21ページ)

④ バッテリーの⊖端子を、もとに戻す

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

DVDプレーヤー+ツアーアンプ+HDDカラオケの場合

HDDカラオケ CB-CS3000D
DVDプレーヤー CB-DVD200D (またはCDプレーヤー CB-CD200D)

多機能ツアーアンプ CB-Q300D

例) **CB-R300D**

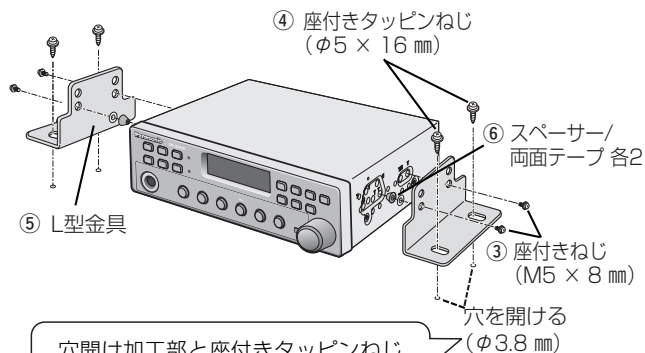
HDDカラオケ CB-CS3000D
テレビチューナー TU-24BSA

AM/FM 電子同調ラジオアンプ CB-R300D

取り付けかた

ショート事故防止のため、電源コードの本体側コネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

■ 床などに取り付ける場合

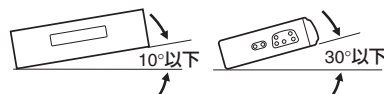


穴開け加工部と座付きタッピングねじに防錆剤を塗ってください。

お願い

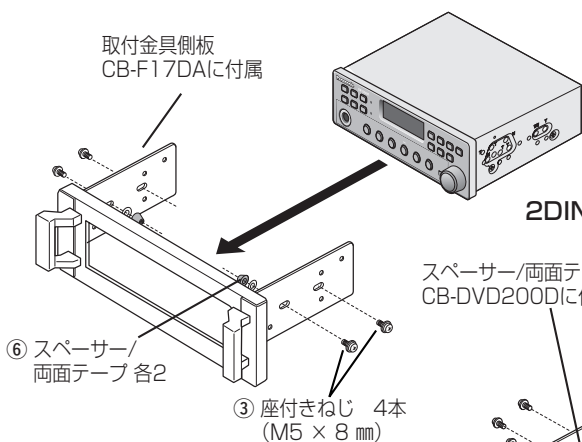
- 以下の場所へ取り付けしないでください。故障の原因になります。
 - ・直射日光のあたる場所や著しく熱くなる場所
 - ・水のかかるところ、足で踏まれるところ
 - ・ほこりの多いところ
- なるべく水平になるように取り付けてください。

許容傾斜角度

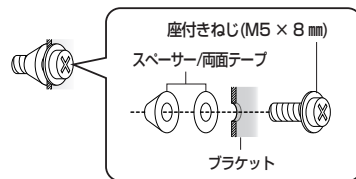


■ コンソールボックスに取り付ける場合

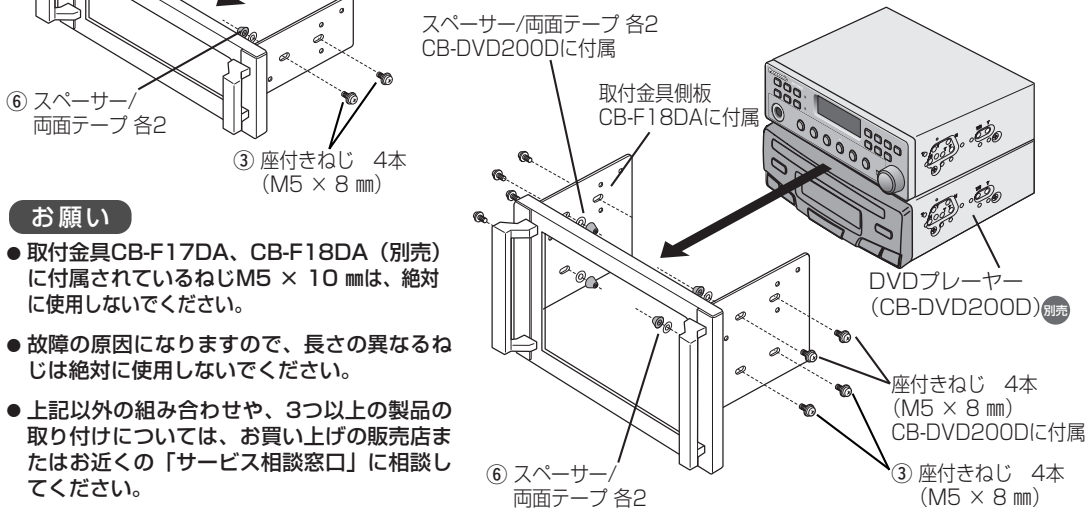
1DIN取付金具 (CB-F17DA) 別売 を使用する場合



ブラケットが不安定な場合には、スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。



2DIN取付金具 (CB-F18DA) 別売 を使用する場合



お願い

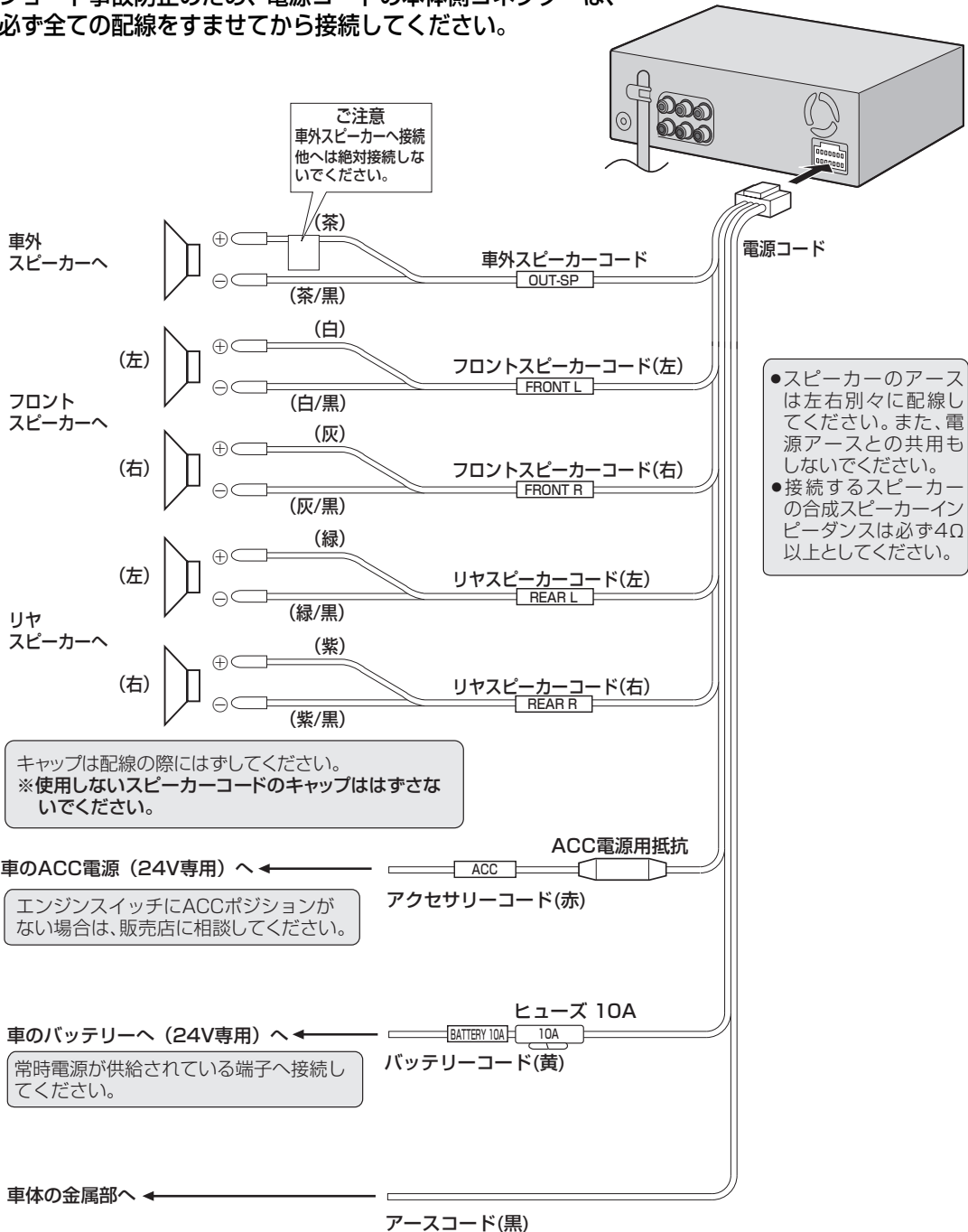
- 取付金具CB-F17DA、CB-F18DA (別売) に付属されているねじM5 × 10 mmは、絶対に使用しないでください。
- 故障の原因になりますので、長さの異なるねじは絶対に使用しないでください。
- 上記以外の組み合わせや、3つ以上の製品の取り付けについては、お買い上げの販売店またはお近くの「サービス相談窓口」に相談してください。

必要に応じて

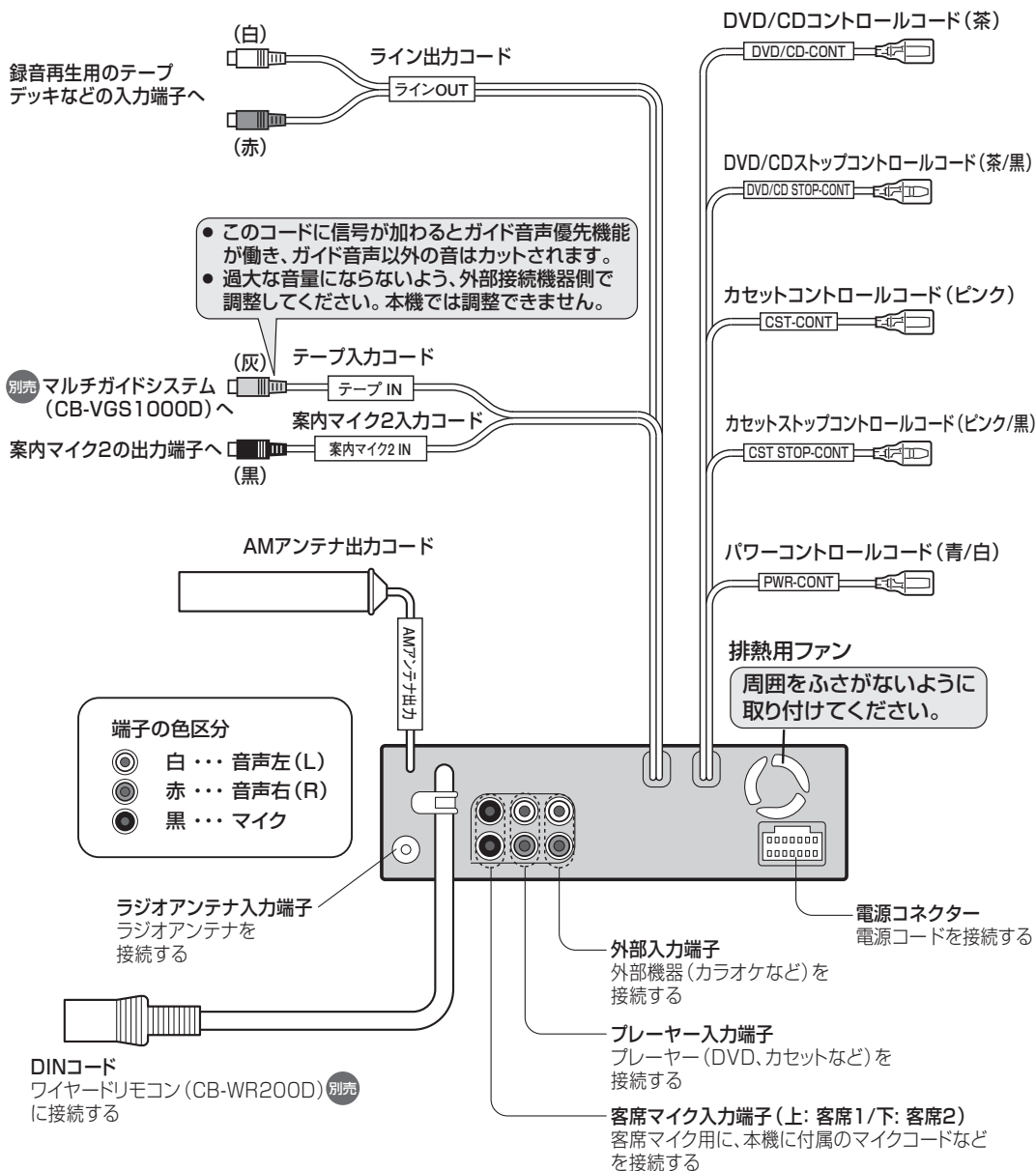
配線のしかた CB-Q300D

基本配線 (付属コードの接続)

ショート事故防止のため、電源コードの本体側コネクタは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。



後面端子部

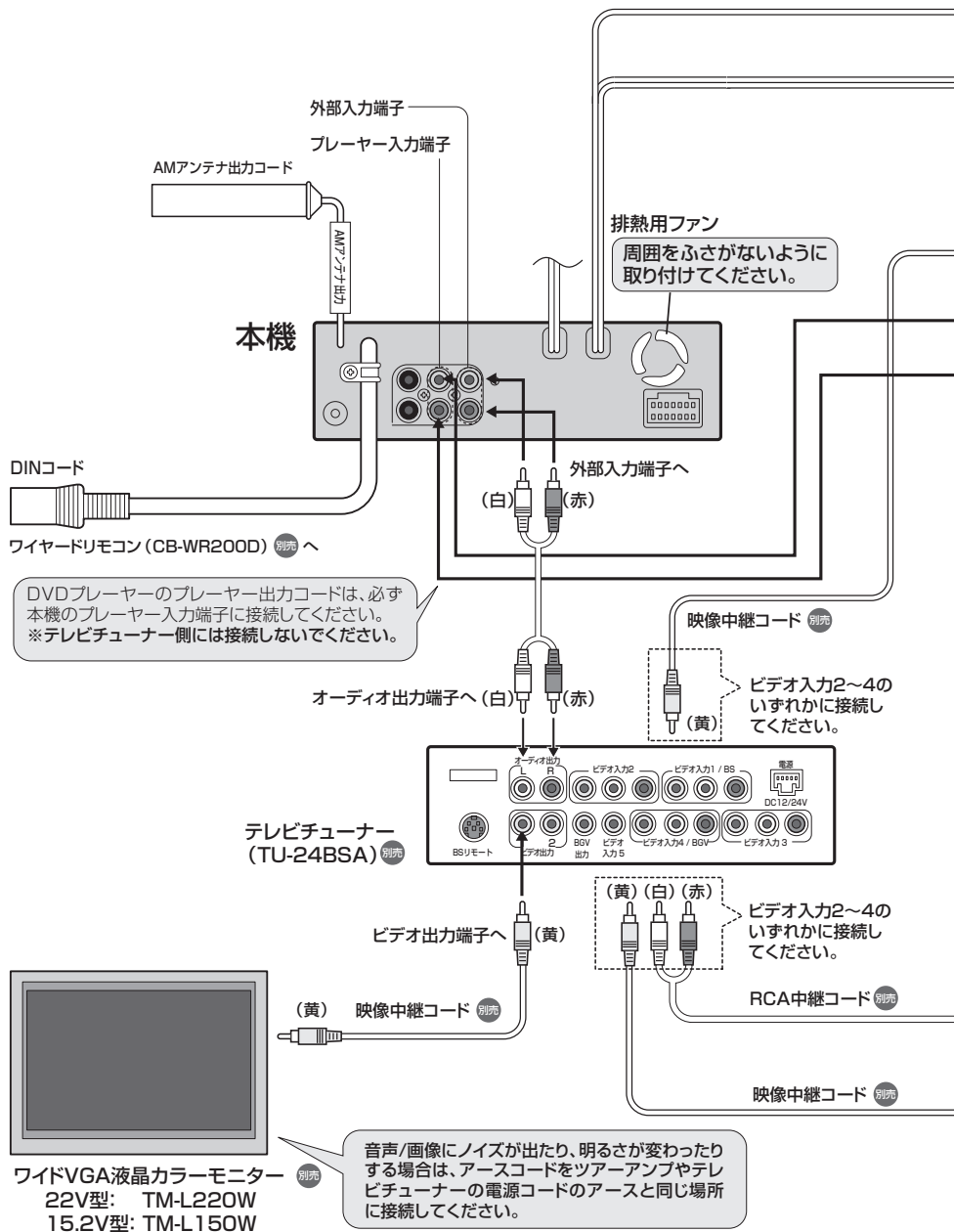


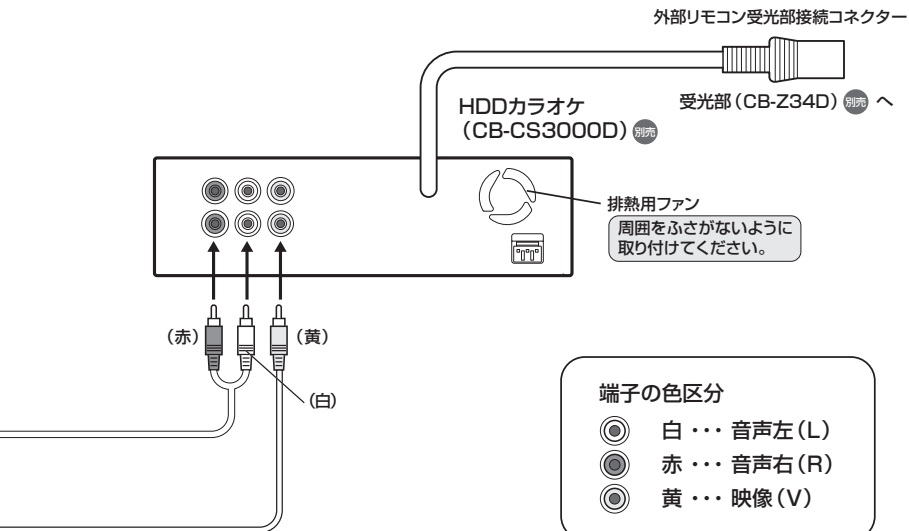
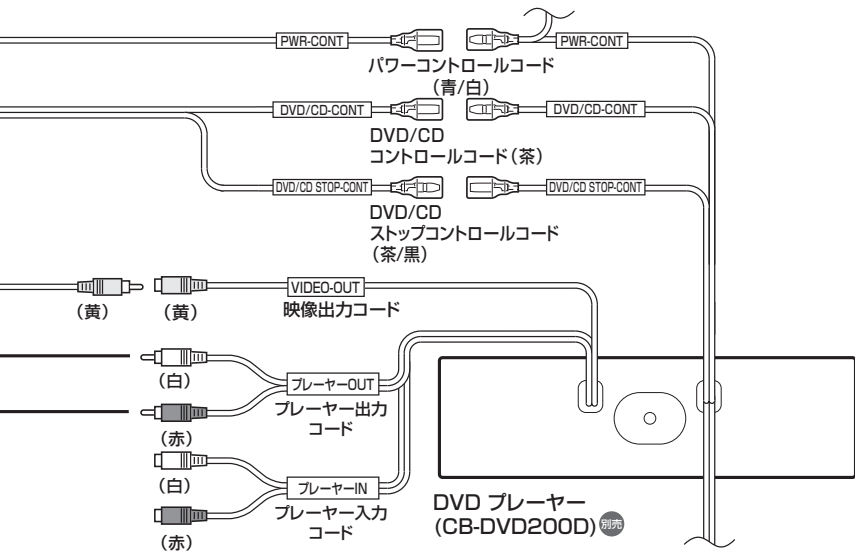
お願い

- キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップをはずさないでください。

DVDプレーヤー・HDDカラオケ・テレビチューナーを接続する

接続する各機器の取付説明書も、併せてご覧ください。



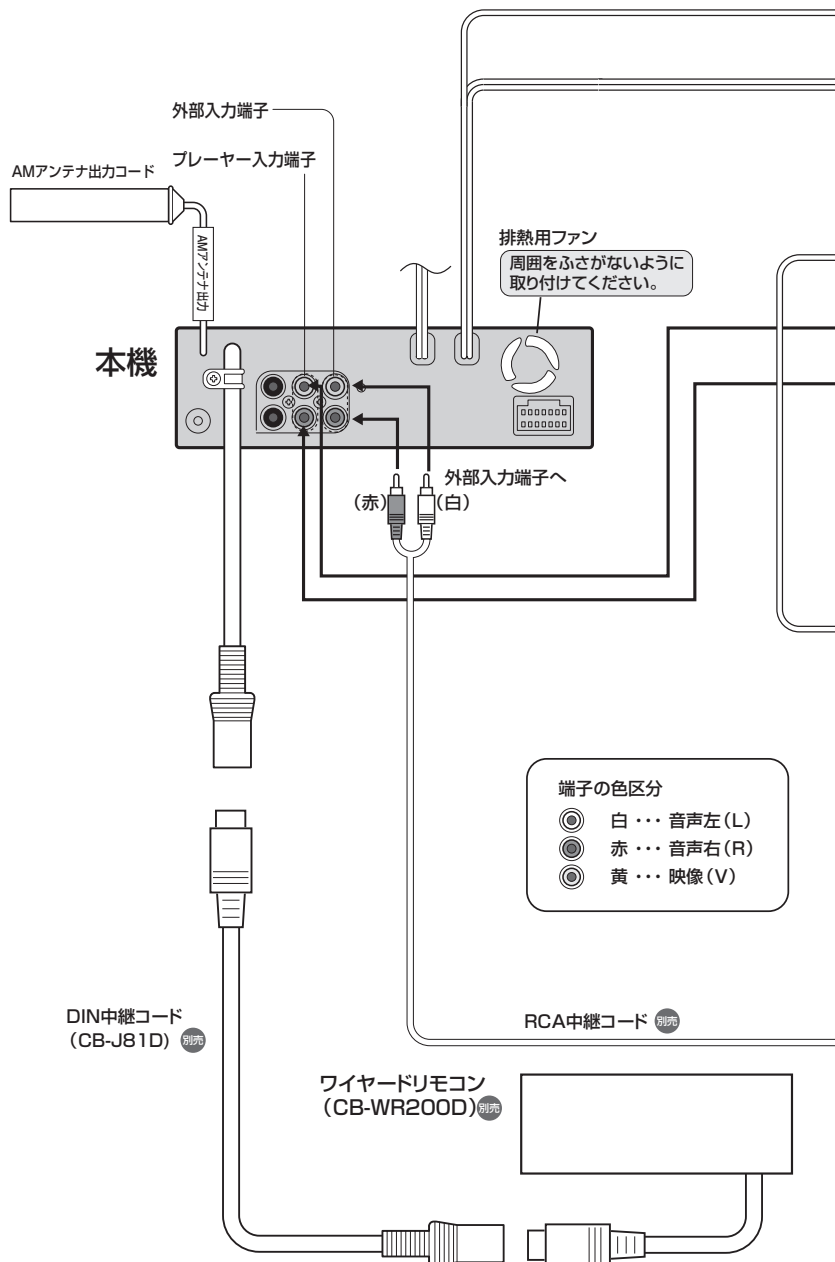


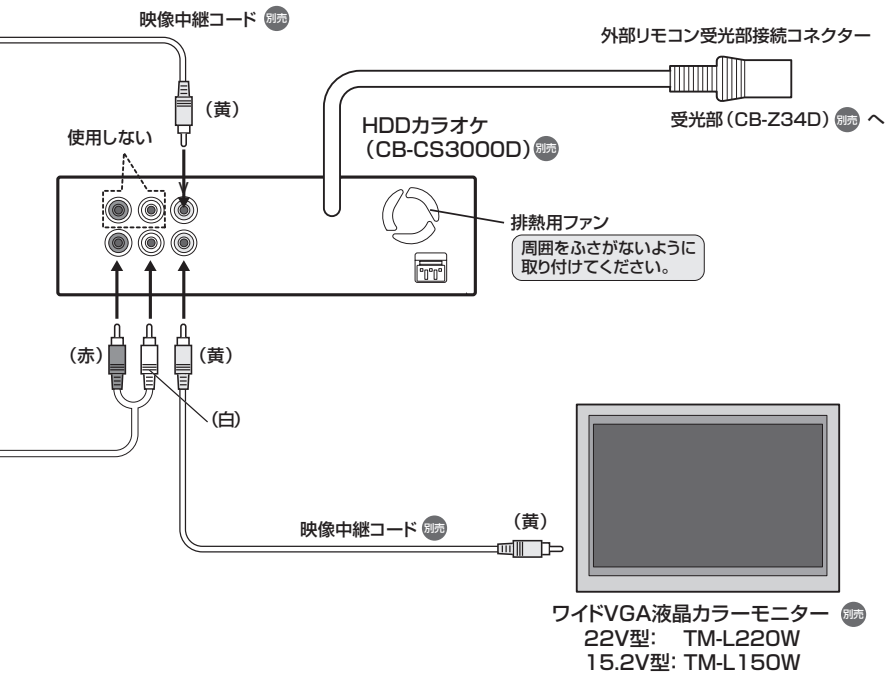
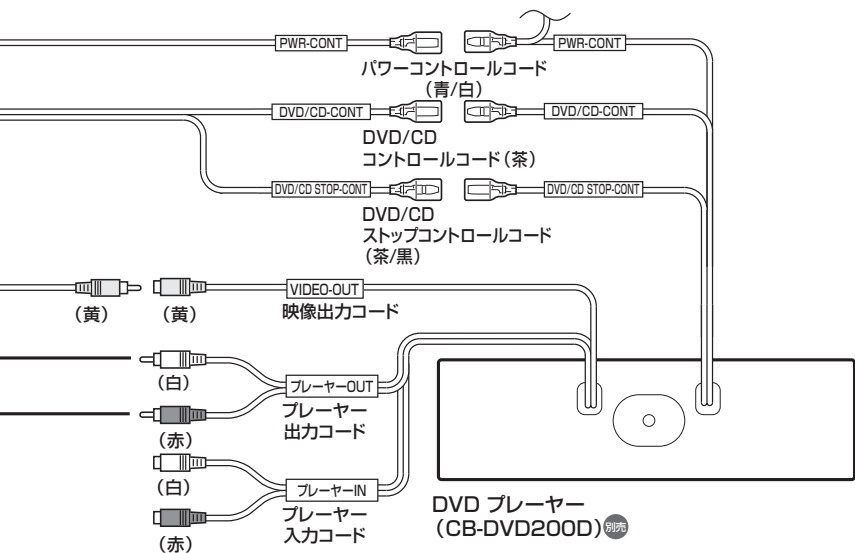
端子の色区分

- ◎ 白 … 音声左 (L)
- ◎ 赤 … 音声右 (R)
- ◎ 黄 … 映像 (V)

DVDプレーヤー・HDDカラオケを接続する

接続する各機器の取付説明書も、併せてご覧ください。



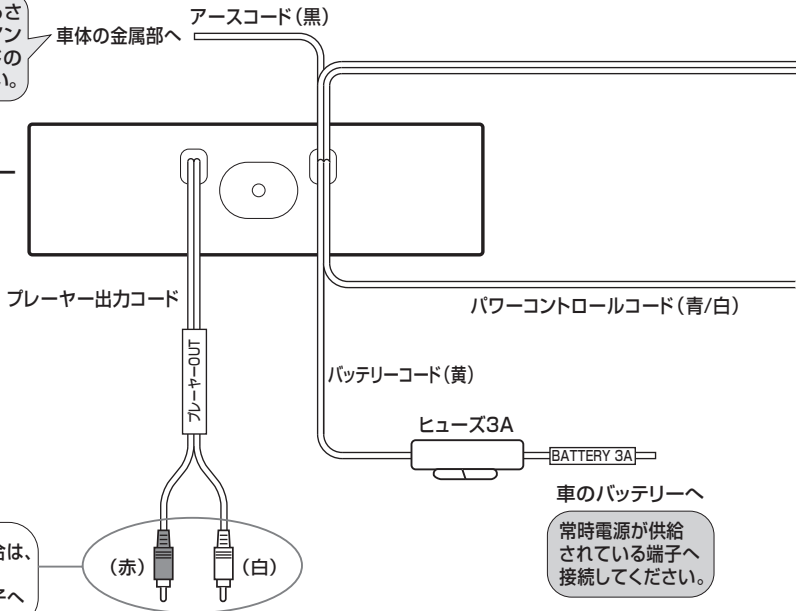


DVD/CDプレーヤー・カセットプレーヤーを接続する

接続する各機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

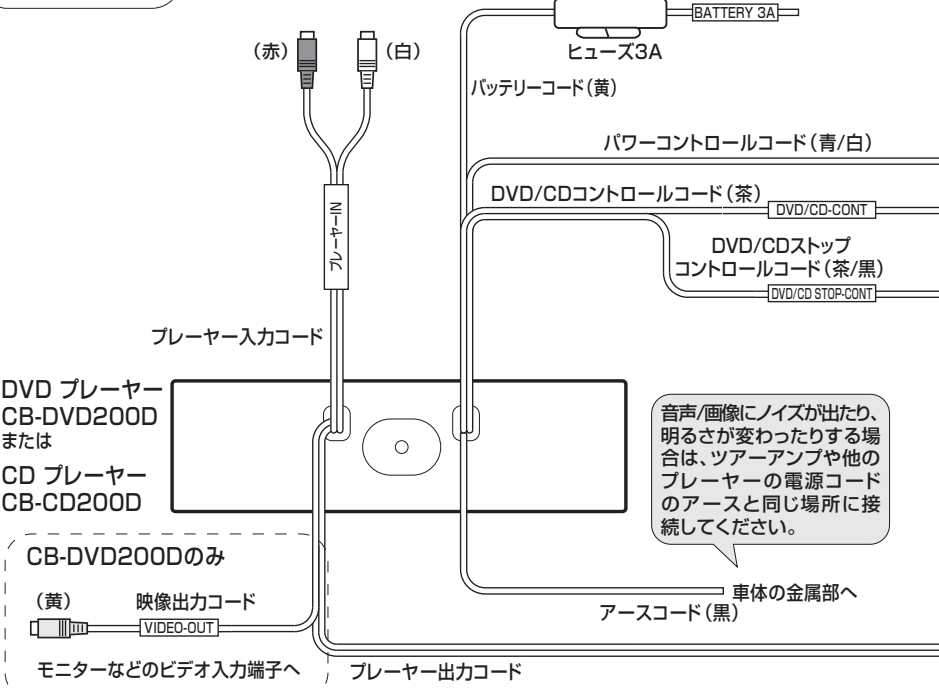
音声/画像にノイズが出たり、明るさが変わったりする場合は、ツアアンプや他のプレーヤーの電源コードのアースと同じ場所に接続してください。

別売 カセット プレーヤー
CB-C200D



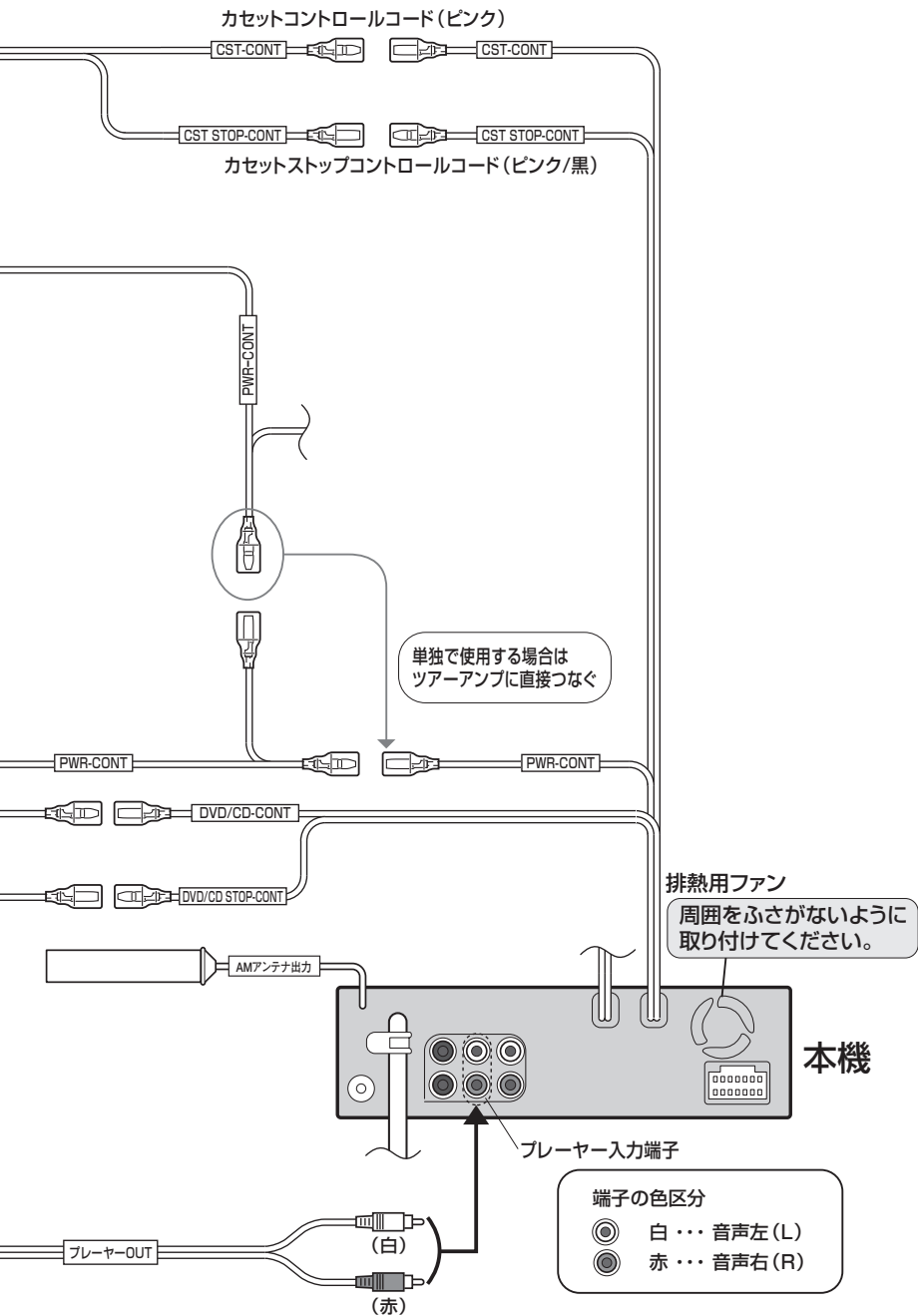
単独で使用する場合は、ツアアンプのプレーヤー入力端子へ

別売 DVD プレーヤー
CB-DVD200D
または
別売 CD プレーヤー
CB-CD200D



音声/画像にノイズが出たり、明るさが変わったりする場合は、ツアアンプや他のプレーヤーの電源コードのアースと同じ場所に接続してください。

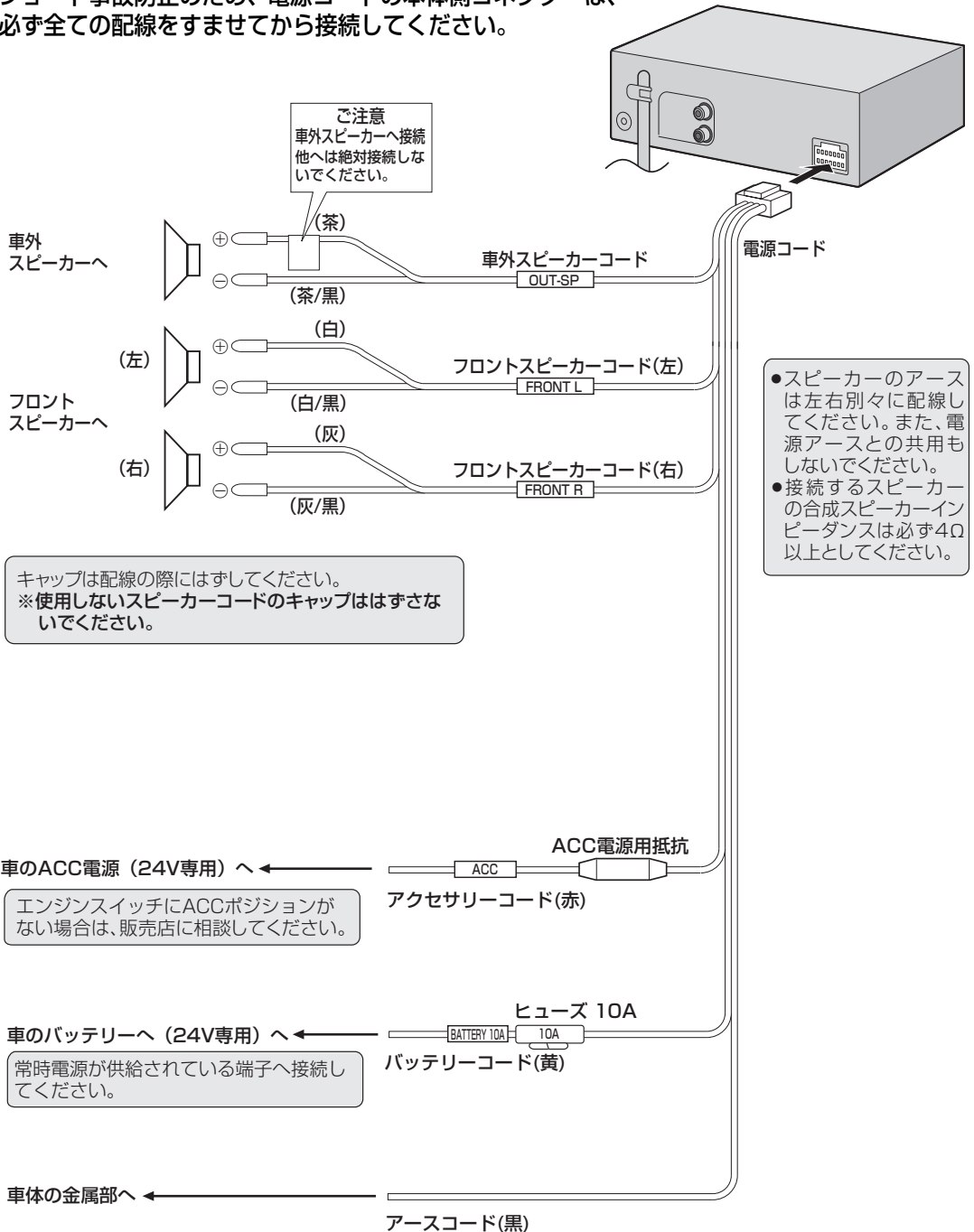
CB-DVD200Dのみ
(黄) 映像出力コード
VIDEO-OUT
モニターなどのビデオ入力端子へ



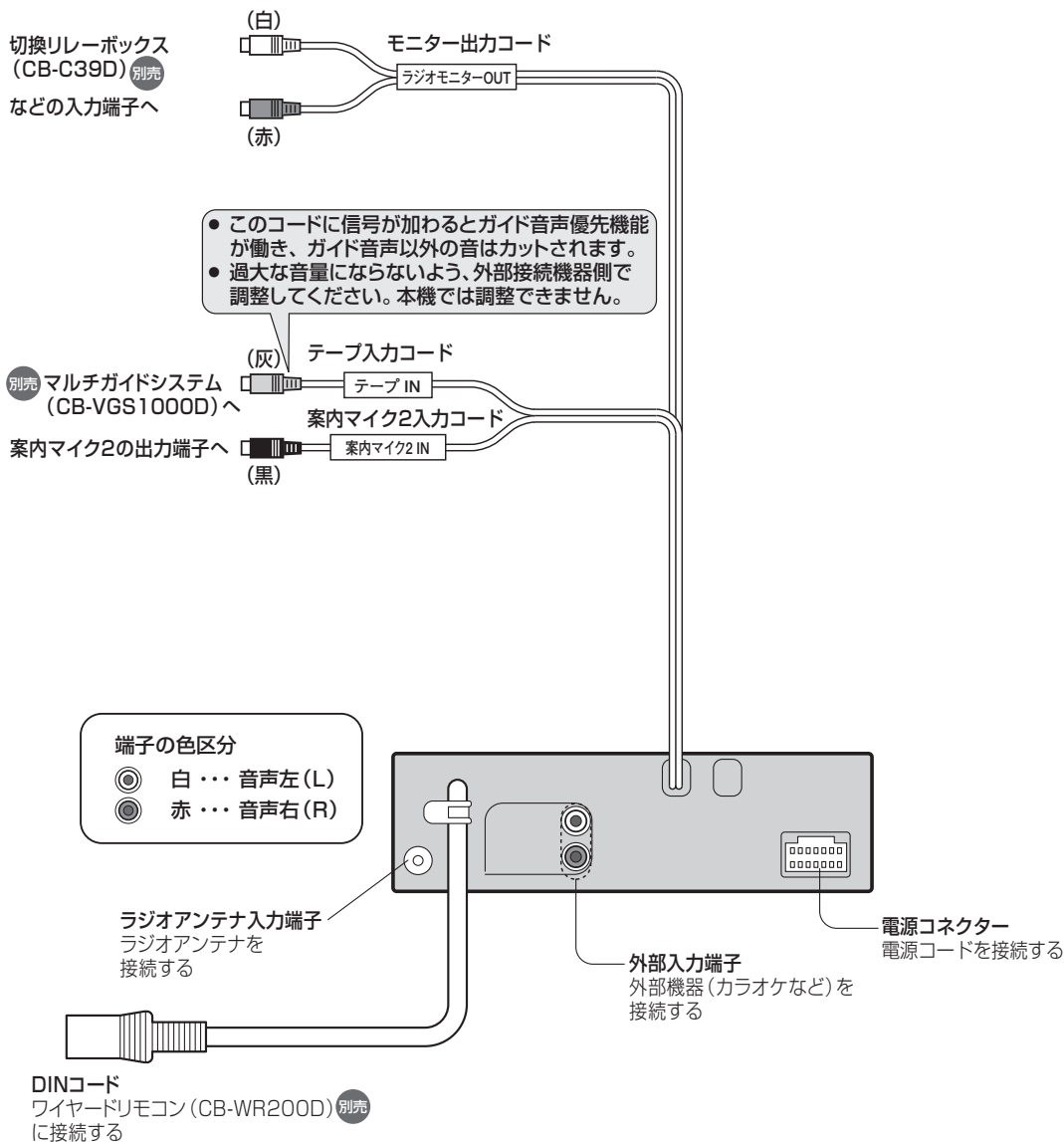
必要に応じて

基本配線 (付属コードの接続)

ショート事故防止のため、電源コードの本体側コネクタは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。



後面端子部

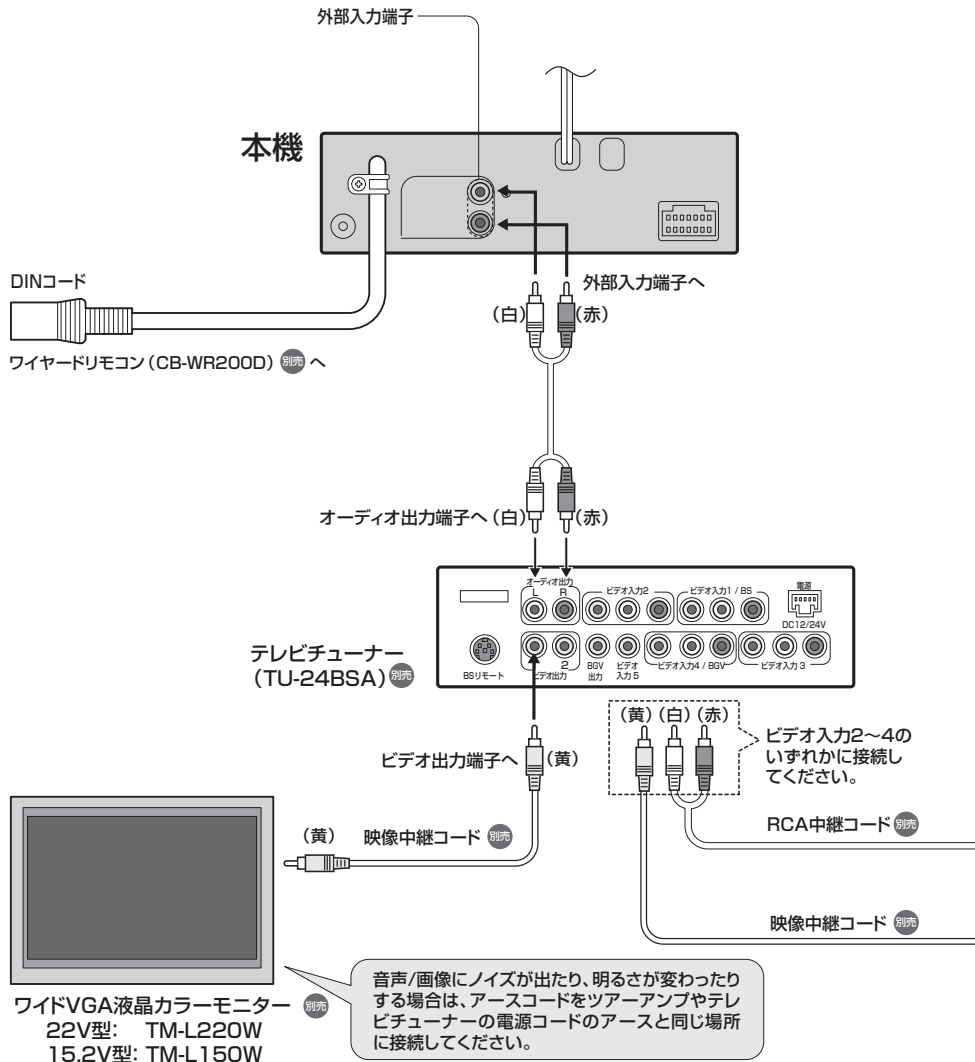


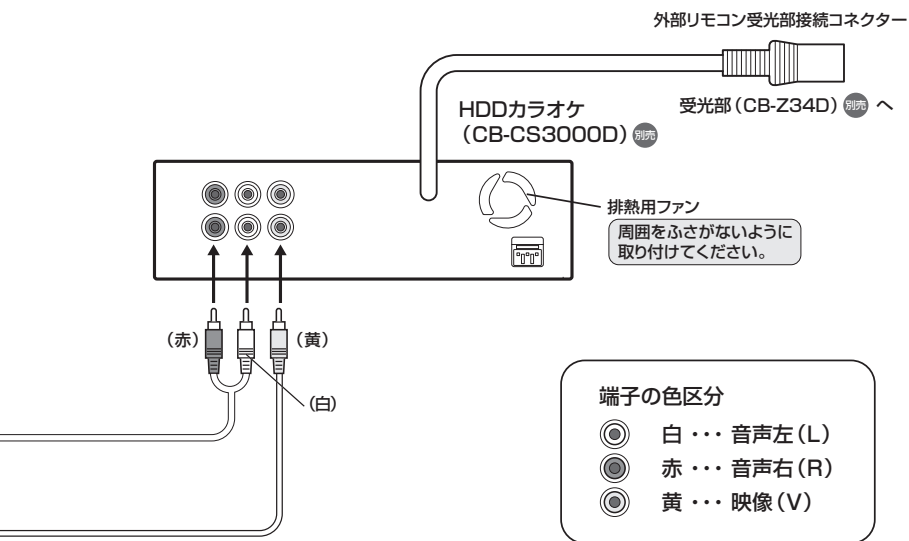
お願い

- キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップをはずさないでください。

HDDカラオケ・テレビチューナーを接続する

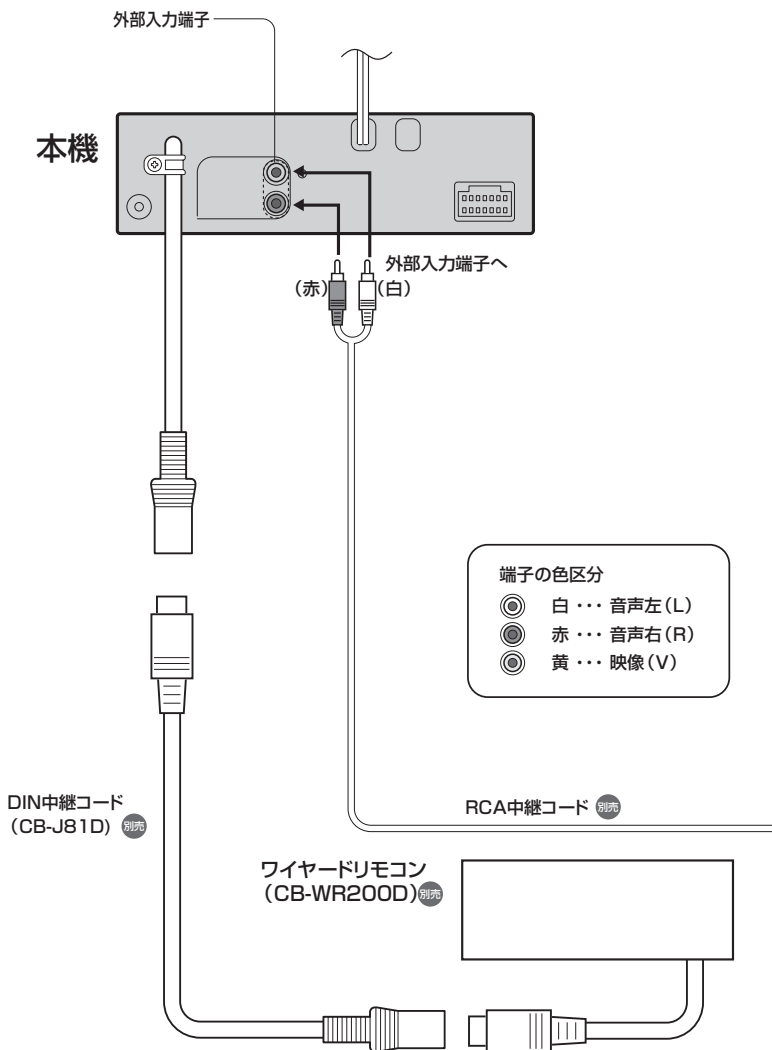
接続する各機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

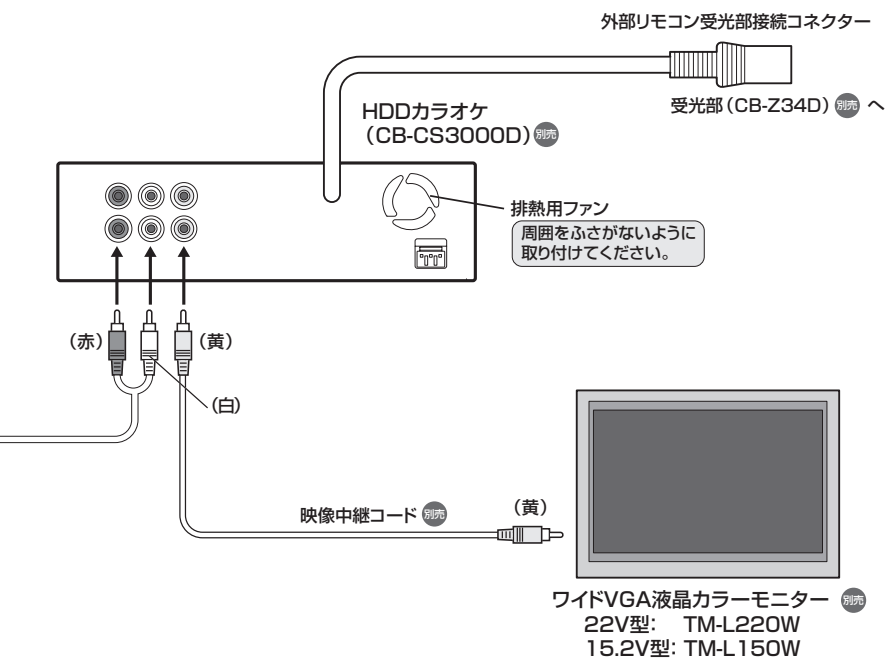




HDDカラオケを接続する

接続する各機器の取付説明書も、併せてご覧ください。





お手入れのしかた

パネルが汚れたときは

- 電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液などを使うと、ケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

仕様

共通部

電源電圧	: DC 24 V (使用可能電圧範囲 21 V~32 V) マイナスアース (試験電圧26.4 V)
消費電流	: 2.5 A (8 Ω負荷、0.5 W×4) CB-Q300D 1.3 A (8 Ω負荷、0.5 W×2) CB-R300D
定格出力	: 15 W×4 CB-Q300D / 15 W×2 CB-R300D (4 Ω負荷5%歪率時) : 10 W×4 CB-Q300D / 10 W×2 CB-R300D (8 Ω負荷5%歪率時)
出力負荷スピーカーインピーダンス	: 4 Ω~8 Ω
マイク入力電圧	: 5 mV (10 kΩ)
AUX入力電圧	: 0.5 V (10 kΩ)
CD/DVD入力電圧 CB-Q300D	: 2 V (10 kΩ)
テープ入力電圧	: 0.25 V (10 kΩ)
ライン出力電圧 CB-Q300D	: 2 V (定格出力10 kΩ負荷時)
外形寸法	: 178 (W)× 50 (H)× 160 (D) mm
質量	: 1.3 kg CB-Q300D : 1.2 kg CB-R300D
モニター出力電圧 CB-R300D	: 350 mV

FMチューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度 (SN比 30 dB)	: 8 dBf
SN比 (MONO)	: 62 dB
ステレオ分離度	: 35 dB

AMチューナー部

受信周波数	: 522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度 (SN比 20 dB)	: 25 dB/μV

- 製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申しつけください。

転居や移動先などでお困りの場合は…

- 修理は、お近くの「サービス相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、
お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6年保有しています。

修理を依頼されるとき

「故障かな!？」の項目に従ってご確認のあと、なおらないときには、まず電源を切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により有償にて修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名（品番）	多機能ソアアンプ (CB-Q300D)
	AM/FM 電子同調ラジオアンプ (CB-R300D)
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

お客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  コーパソニック **0120-50-8729**

■一般電話（携帯電話・PHSなど）045-929-1265

FAX **045-938-1573**

受付 9:00～17:00（土・日・祝日・当社休日を除く）

※一般電話、およびFAXをご利用の際の通信料は、
お客様のご負担となります。

ご相談窓口における

お客様の個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供いたしません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	お買い上げの製品の品番に チェックしてください。 <input type="checkbox"/> CB-Q300D <input type="checkbox"/> CB-R300D
販売店名	☎ () —		

この説明書は、再生紙を使用しています。



この取扱説明書の印刷には、植物性の大豆油インキを使用しています。

松下電器産業株式会社
パナソニック オートモーティブシステムズ社
〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved

YEFM285864 NB0706-0